

廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成26年12月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

1 アンケート調査の実施期間

平成26年6月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	283人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	99人
		<u>合計 382人</u>

3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	241人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	77人
		<u>合計 318人</u>

回答率 83.2%

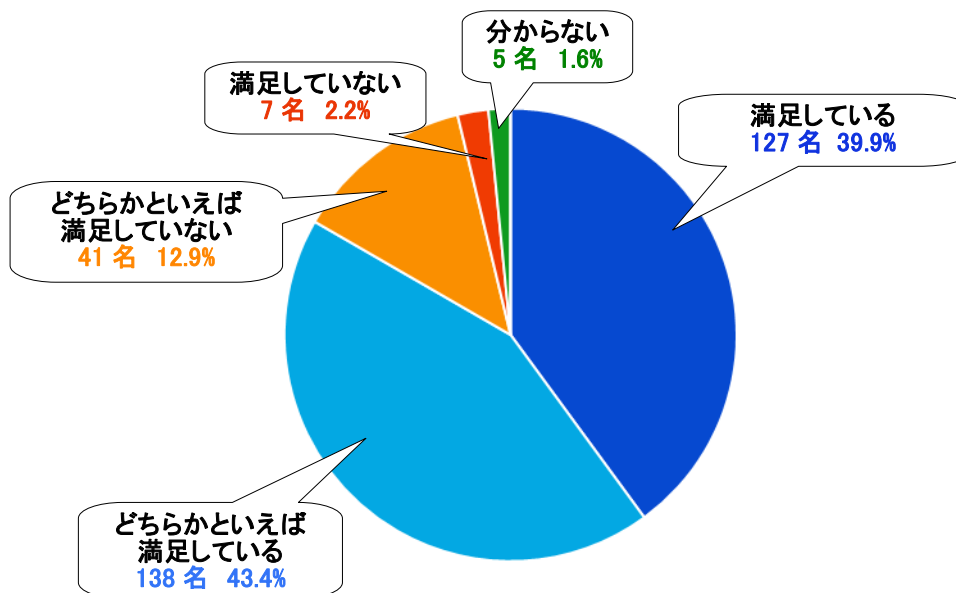
※集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

4 集計結果

廃棄物（ごみ）についてお尋ねします。

【問1】 お住まいの地域の市町村が行っているごみの収集（収集回数や分別区分等）にどの程度満足していますか？（回答者：318名）

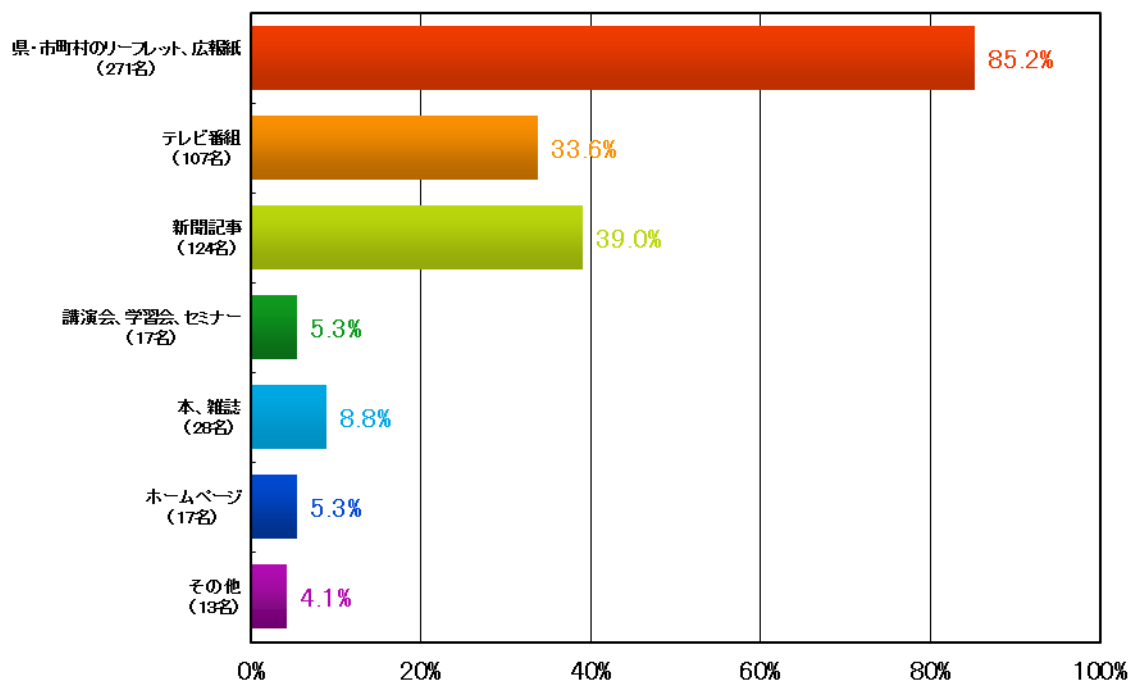
「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、83.3%でした。



【問2】 ごみ問題についての情報、知識はどこから入手していますか？（複数回答）

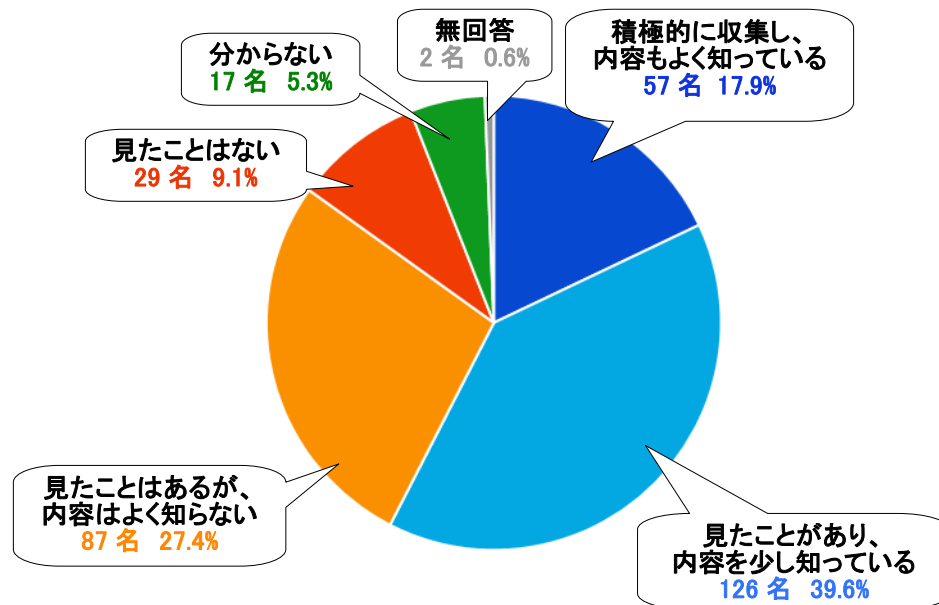
（回答者：318名）

「県・市町村のリーフレット、広報紙」という回答が85.2%、「新聞記事」という回答が39.0%、「テレビ番組」という回答が33.6%でした。



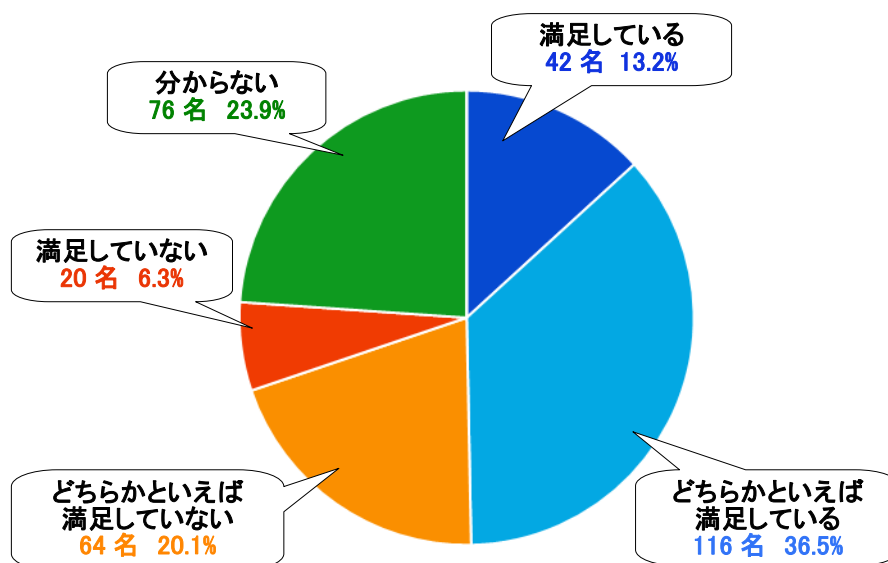
【問3】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が公開・提供している情報をどの程度知っていますか？（回答者：316名）

「積極的に収集し、内容もよく知っている」、「見たことがあり、内容を少し知っている」という回答が、57.5%でした。



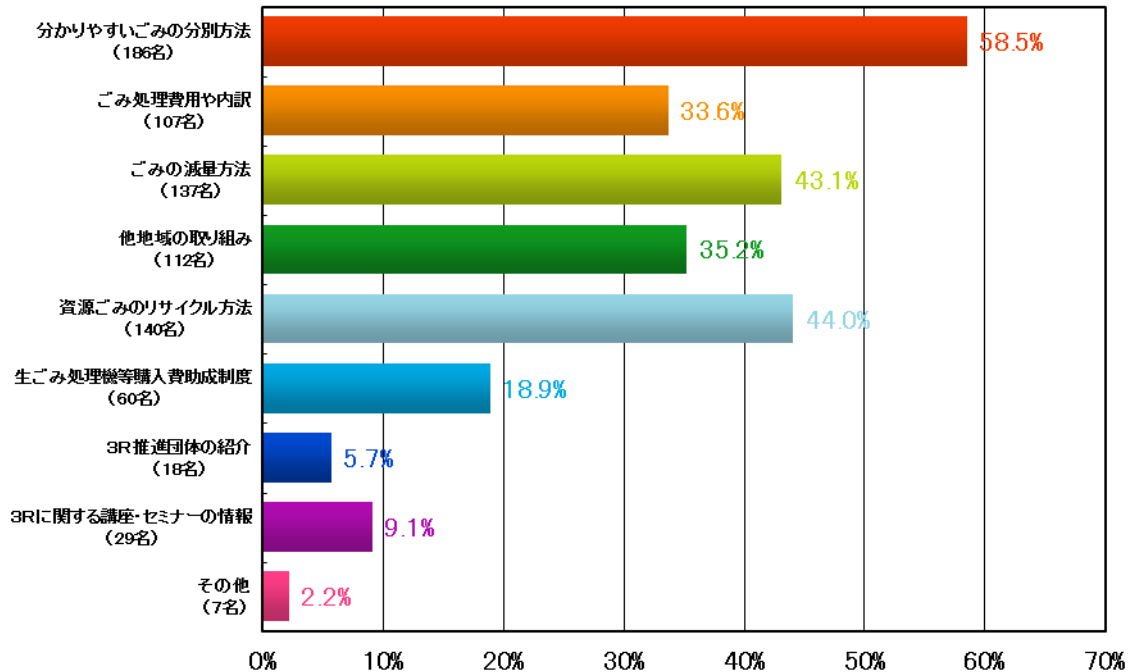
【問4】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が行っている情報の公開・提供にどの程度満足していますか？（回答者：318名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、49.7%でした。



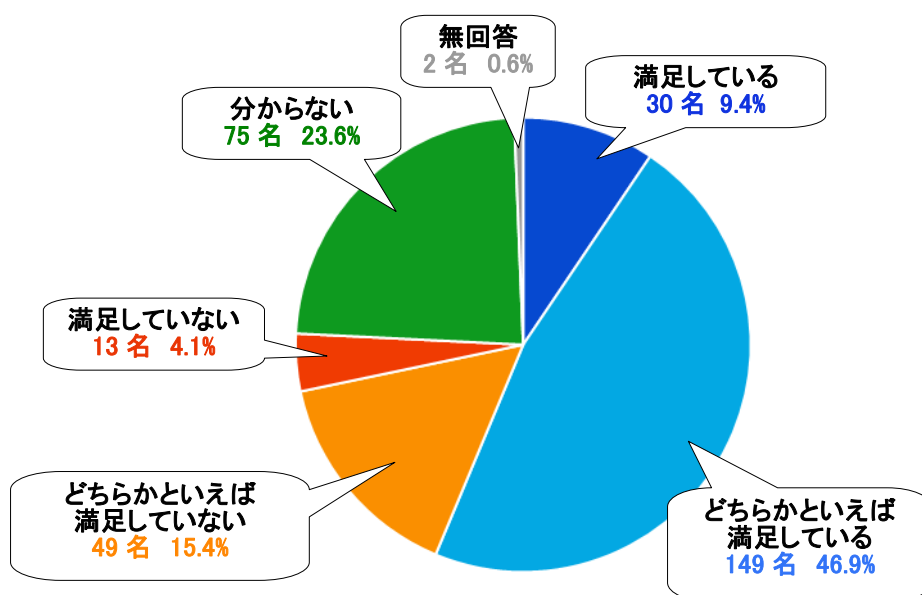
【問5】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、今後どのような情報が欲しいですか？（複数回答）（回答者：318名）

「分かりやすいごみの分別方法」という回答が58.5%、「資源ごみのリサイクル方法」という回答が44.0%、「ごみの減量方法」という回答が43.1%でした。



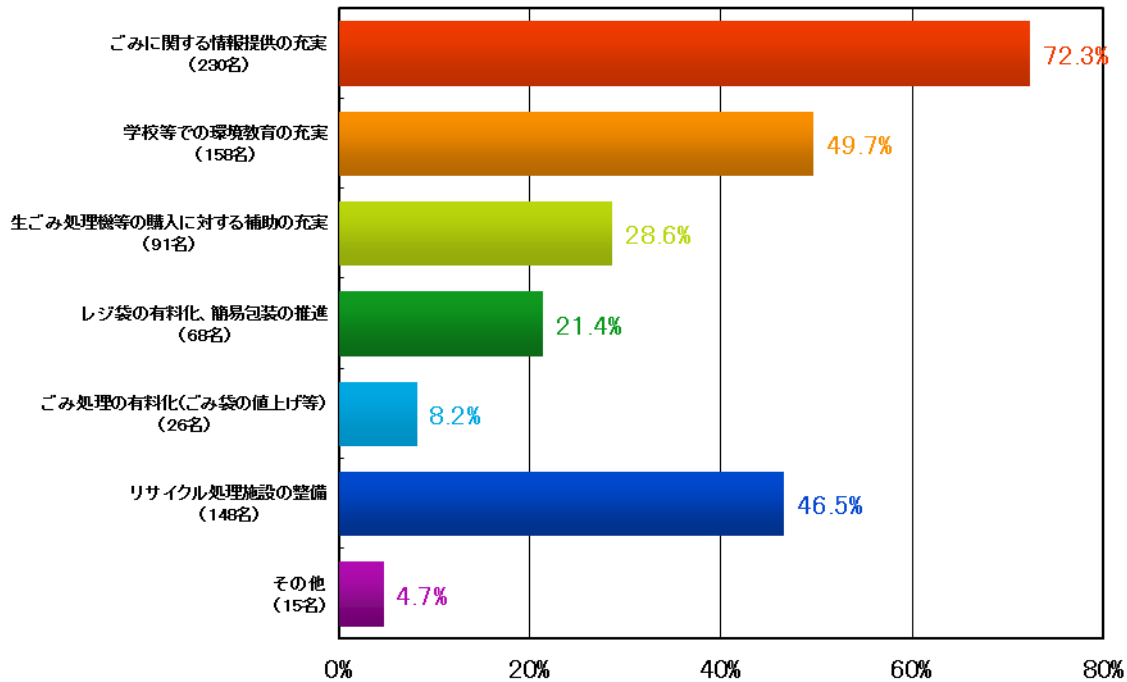
【問6】 県や市町村が行っている3R（排出抑制・再使用・再生利用）への取り組みにどの程度満足していますか？（回答者：316名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、56.3%でした。



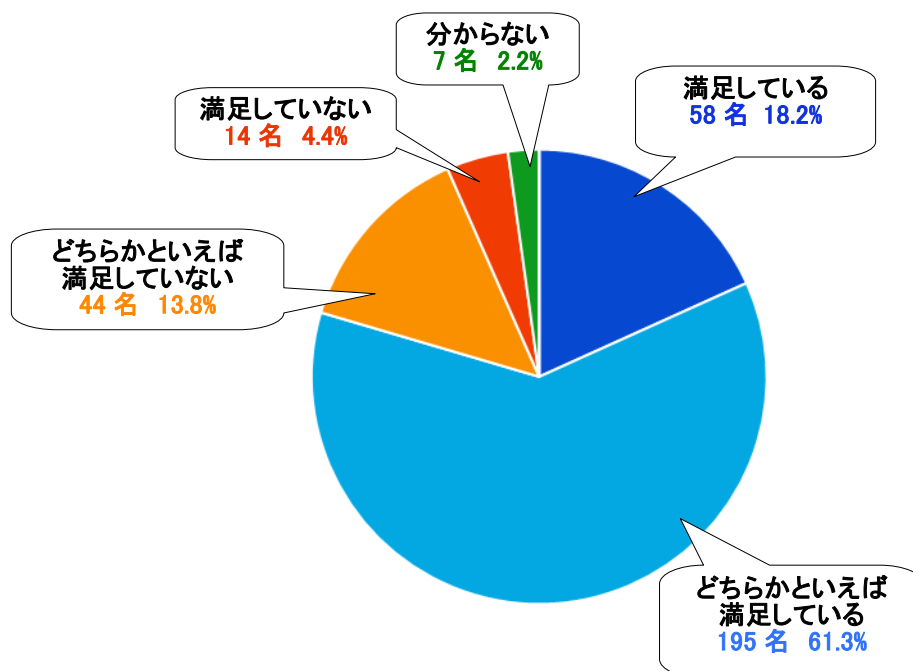
【問7】 3R（排出抑制・再使用・再生利用）を推進するために、今後、力を入れるべきだと思うのは何ですか？（回答者：318名）

「ごみに関する情報提供の充実」という回答が72.3%、「学校等での環境教育の充実」という回答が49.7%、「リサイクル処理施設の整備」という回答が46.5%でした。



【問8】 お住まいの街の清潔さにどの程度満足していますか？（回答者：318名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、79.5%でした。

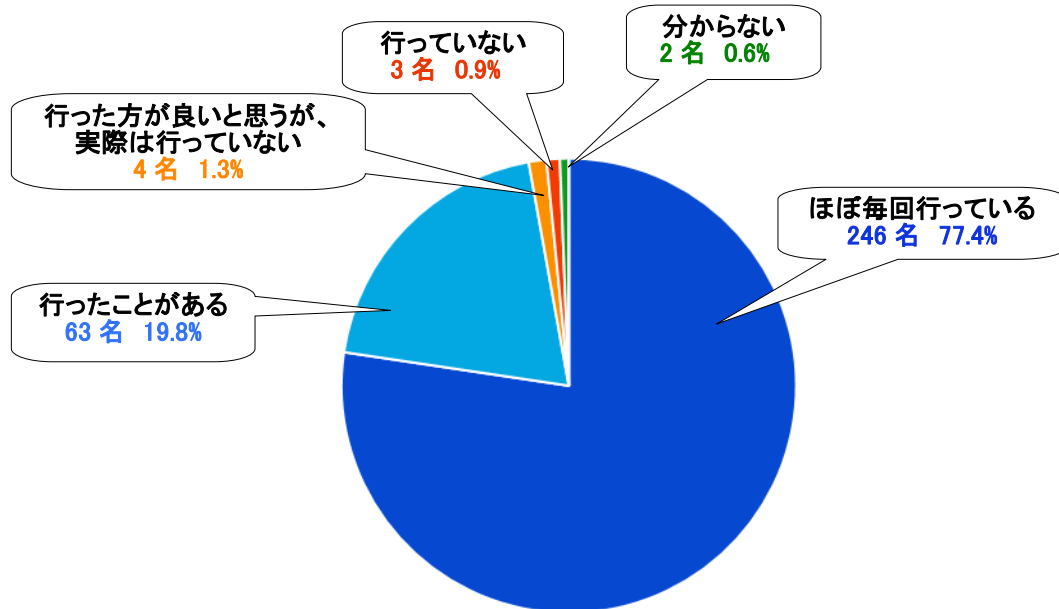


あなたが現在行っているごみ減量化の取り組みについてお尋ねします。

【問9】 ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？

(回答者：318名)

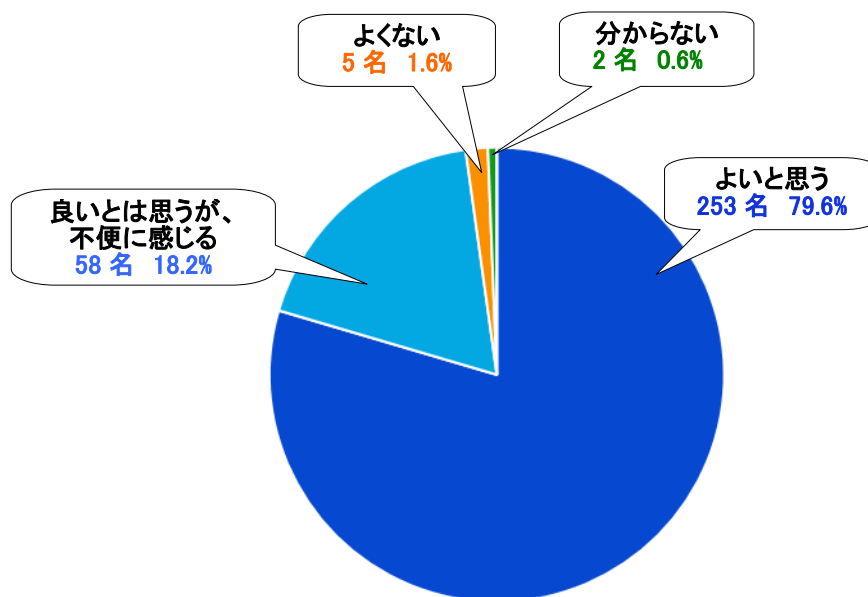
「ほぼ毎回行っている」、「行ったことがある」という回答が、97.2%でした。



【問10】 スーパーなどでレジ袋有料化が進んでいますが、どう思われますか？

(回答者：318名)

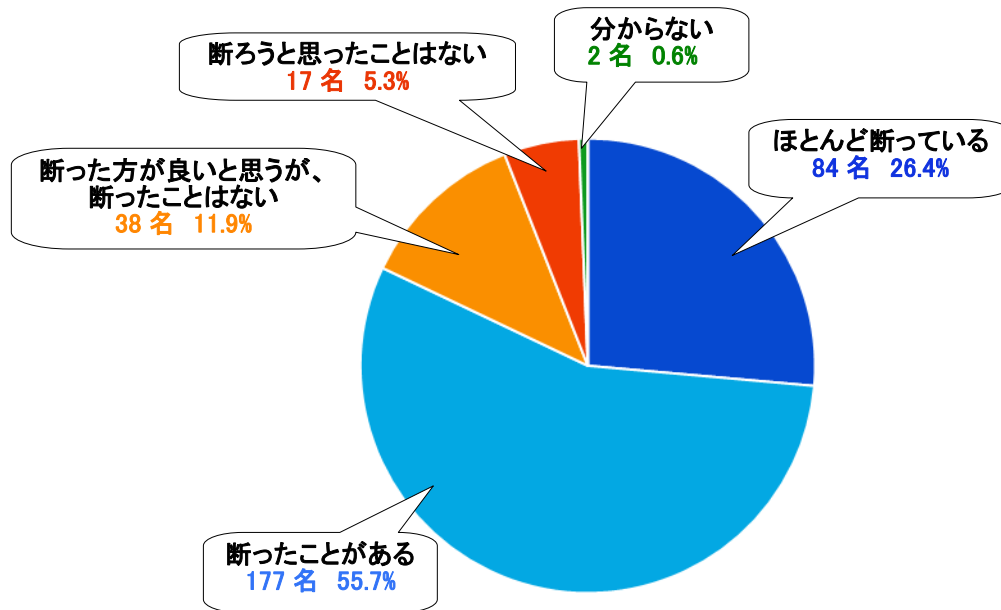
「よいと思う」という回答が、79.6%でした。



【問1 1】 ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装（例：内容物の保護や品質保全、持ち運びの利便性の限度を超えて内装を重ねる 等）を断っていますか？

（回答者：318名）

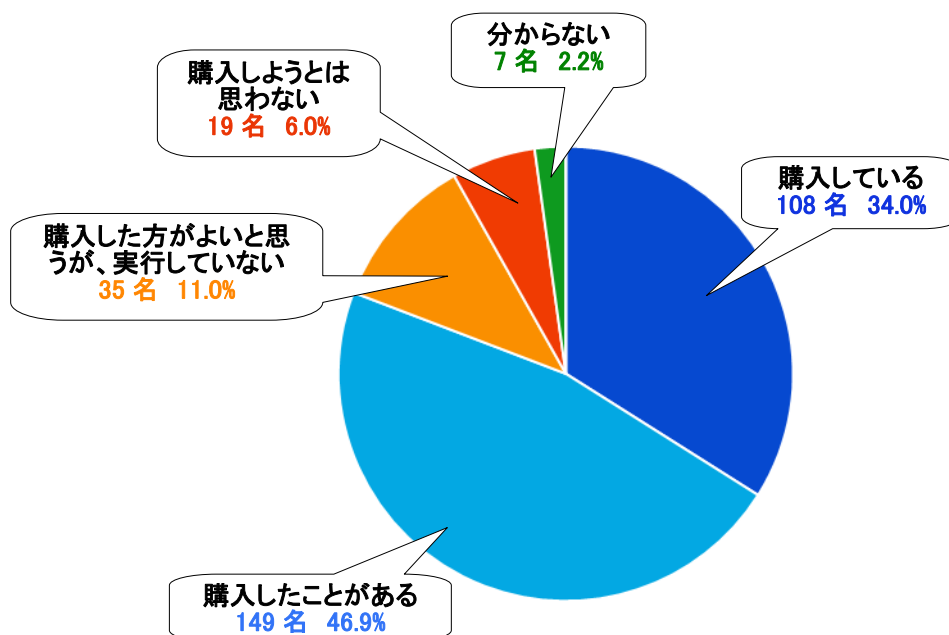
「ほとんど断っている」、「断ったことがある」という回答が82.1%でした。



【問1 2】 あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品（使い捨て商品でないもの）を選んで購入していますか？

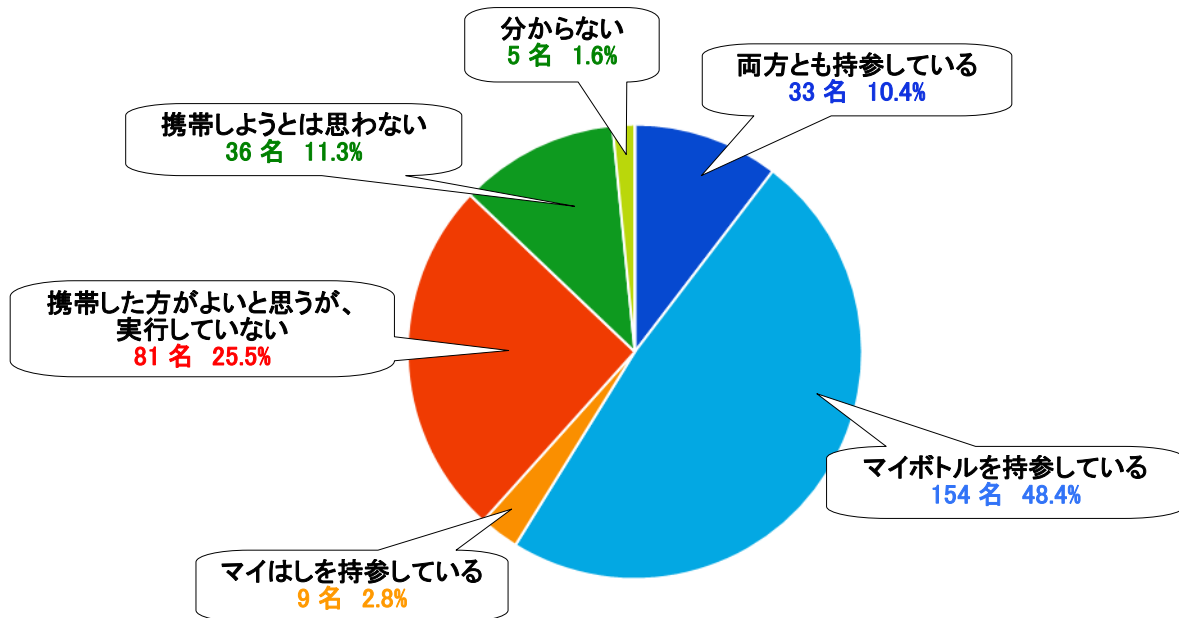
（回答者：318名）

「購入している」、「購入したことがある」という回答が、80.9%でした。



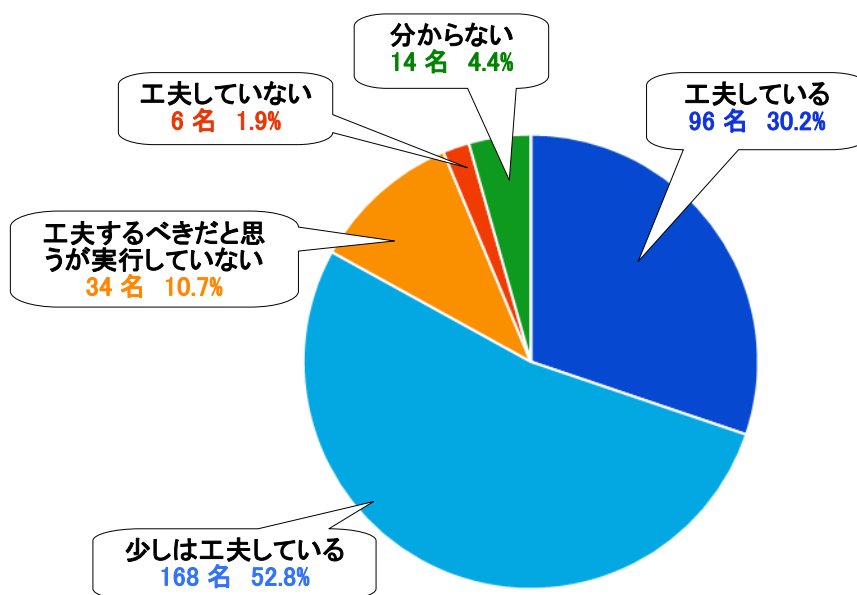
【問13】 ご自分の水筒等（マイボトル） やはし（マイはし） を携帯して、不要な容器や割りばしなどを断るようにはしていますか？（回答者：318名）

「両方とも持参している」、「マイボトルを持参している」、「マイはしを持参している」という回答が61.6%でした。



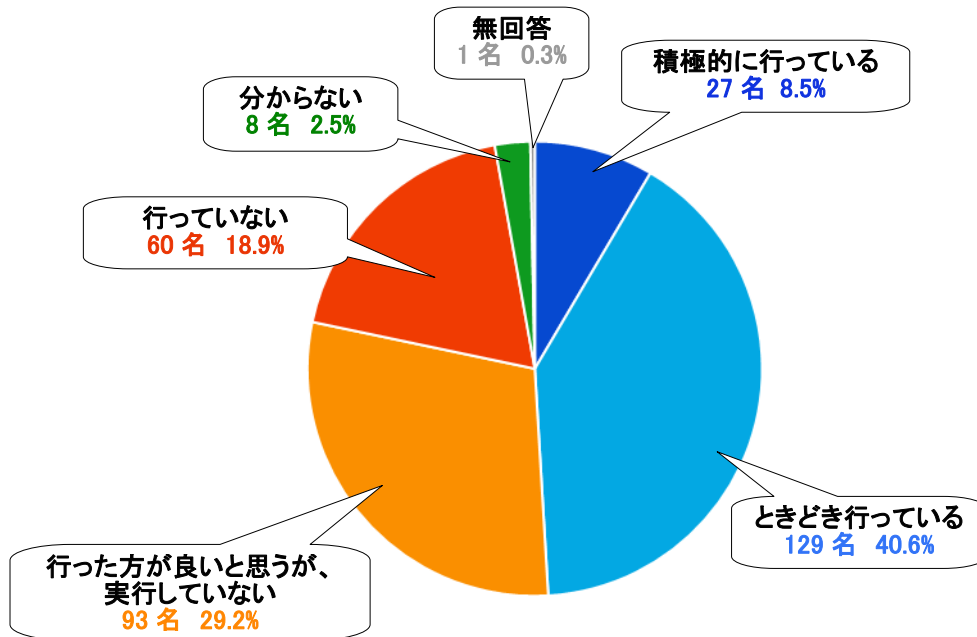
【問14】 残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫をしていますか？（回答者：318名）

「工夫している」、「少しは工夫している」という回答が、83.0%でした。



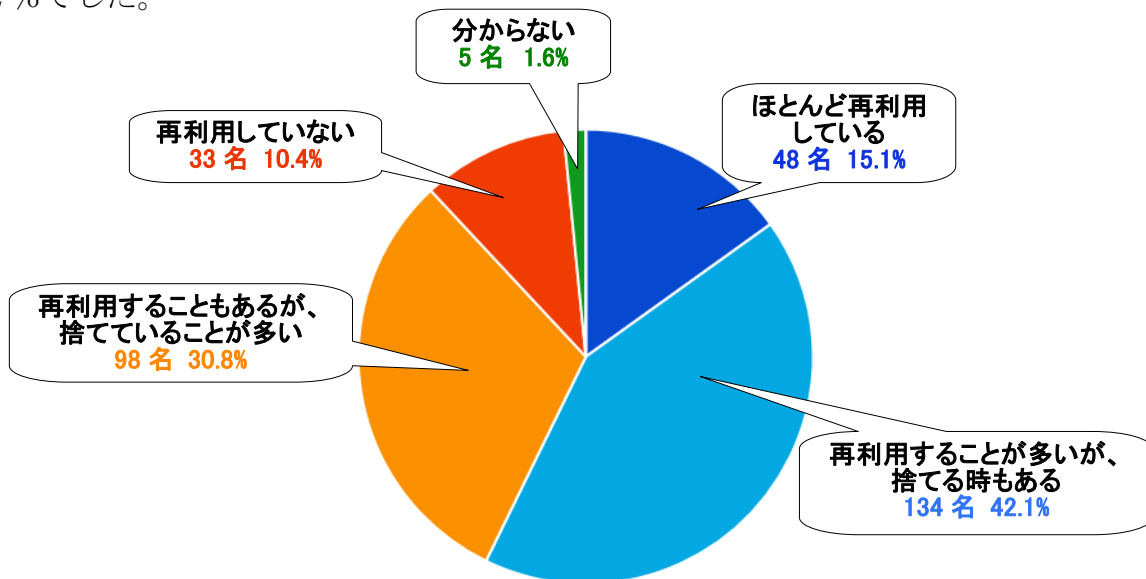
【問15】 一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品（中古品）の購入などを行っていますか？（回答者：317名）

「積極的に行っている」、「ときどき行っている」という回答が、49.1%でした。



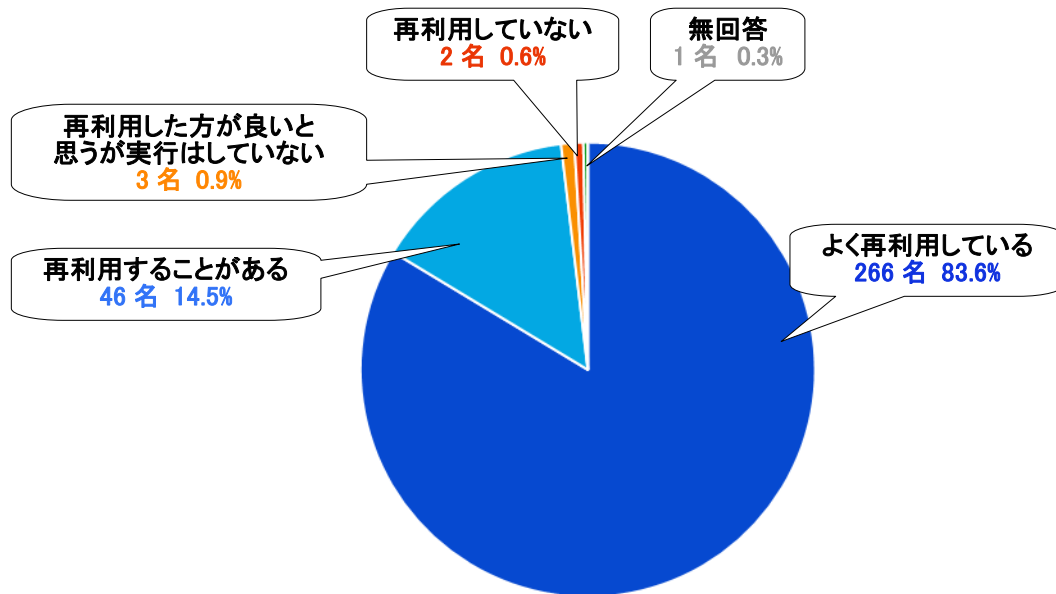
【問16】 古着などは捨てるずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：318名）

「ほとんど再利用している」、「再利用することが多いが、捨てる時もある」という回答が57.2%でした。



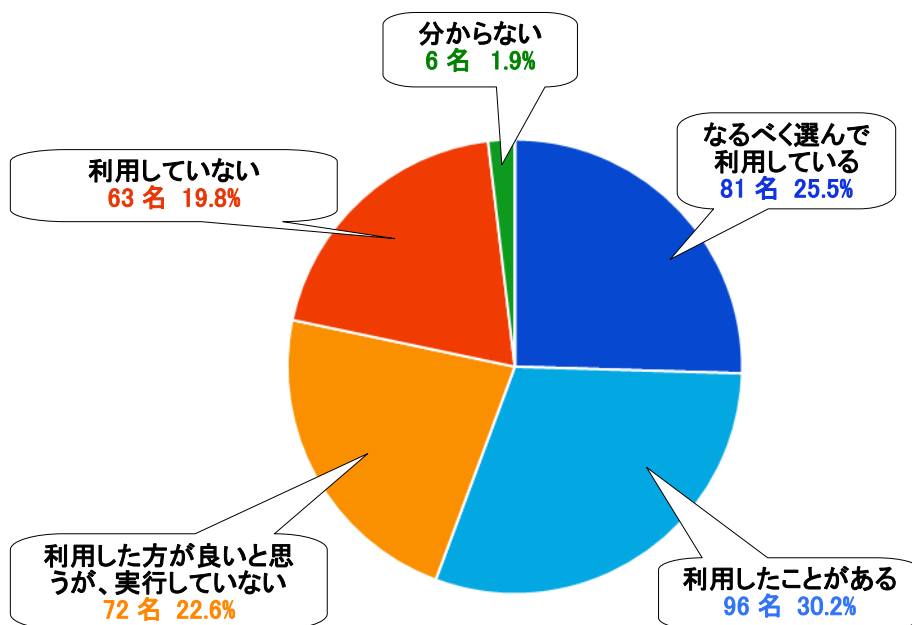
【問17】 洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用（リユース）をしていますか？（回答者：318名）

「よく再利用している」、「再利用することがある」という回答が、98.1%でした。



【問18】 ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きビンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？（回答者：318名）

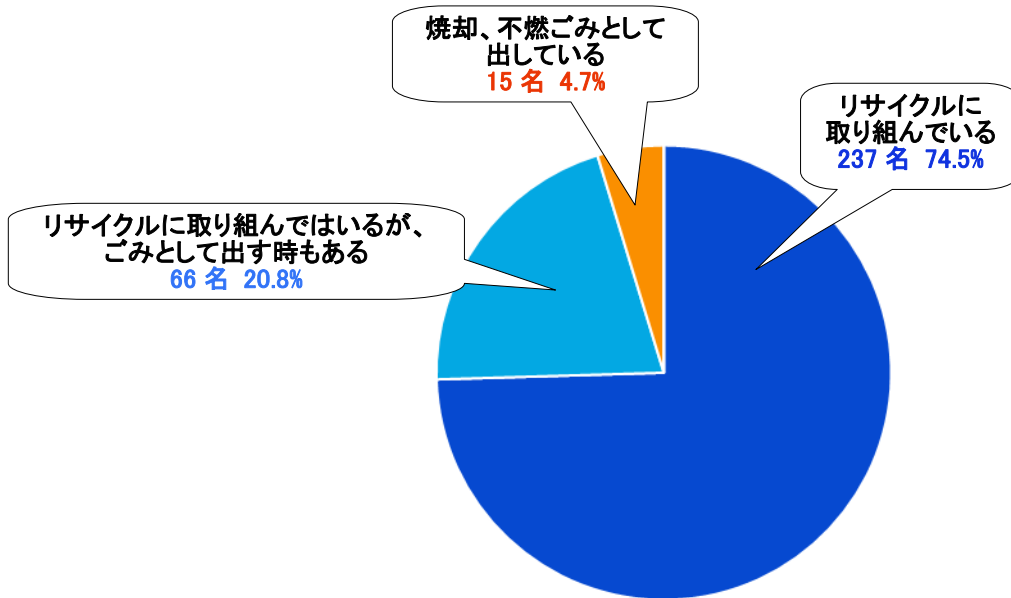
「なるべく選んで利用している」、「利用したことがある」という回答が、55.7%でした。



ごみのリサイクルについてお尋ねします。

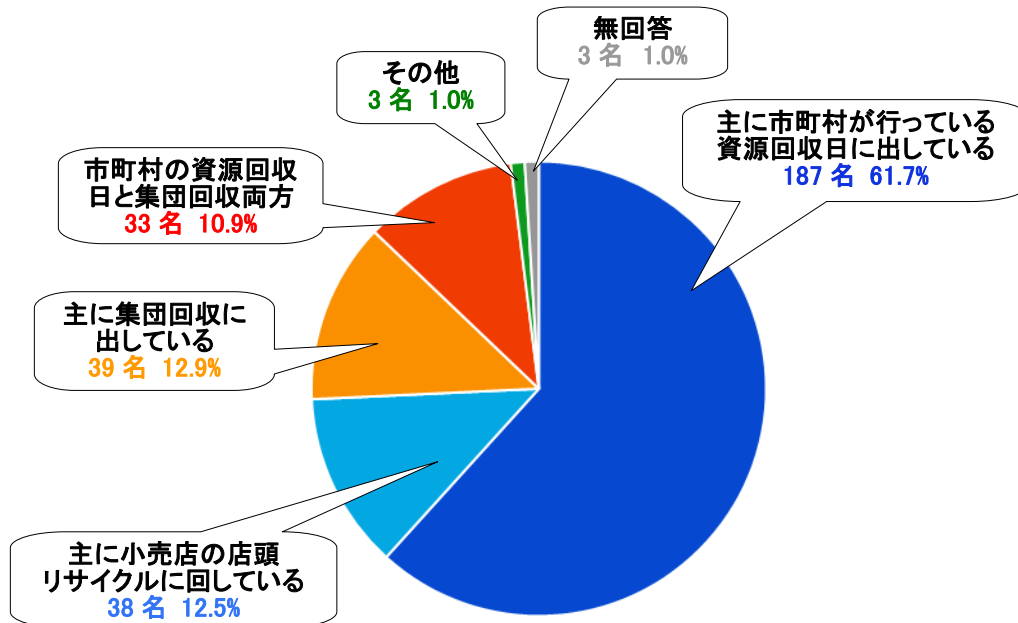
【問19】ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：318名）

「リサイクルに取り組んでいる」、「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」という回答が95.3%でした。



【問20】 問19で「リサイクルに取り組んでいる」又は「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：300名）

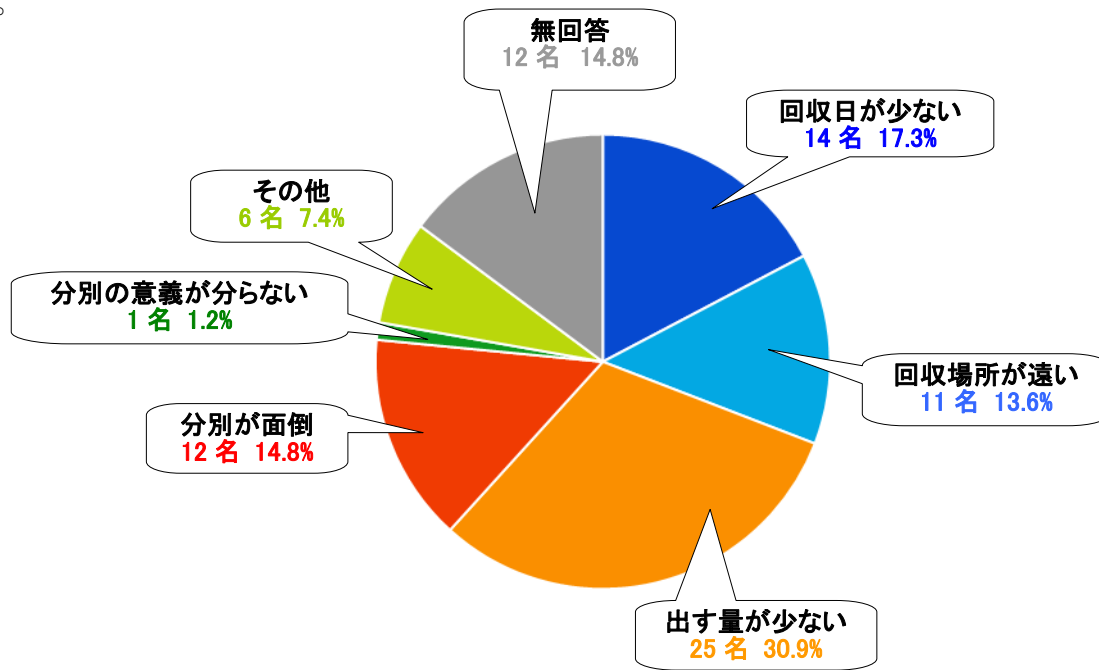
「主に市町村が行っている資源回収日に出している」という回答が、61.7%でした。



【問21】 問19で「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」又は「焼却、不燃ごみとして出している」と回答した方にお聞きします。リサイクルではなく、焼却ごみ又は不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答え下さい。

(回答者：69名)

「出す量が少ない」という回答が30.9%、「回収日が少ない」という回答が17.3%でした。



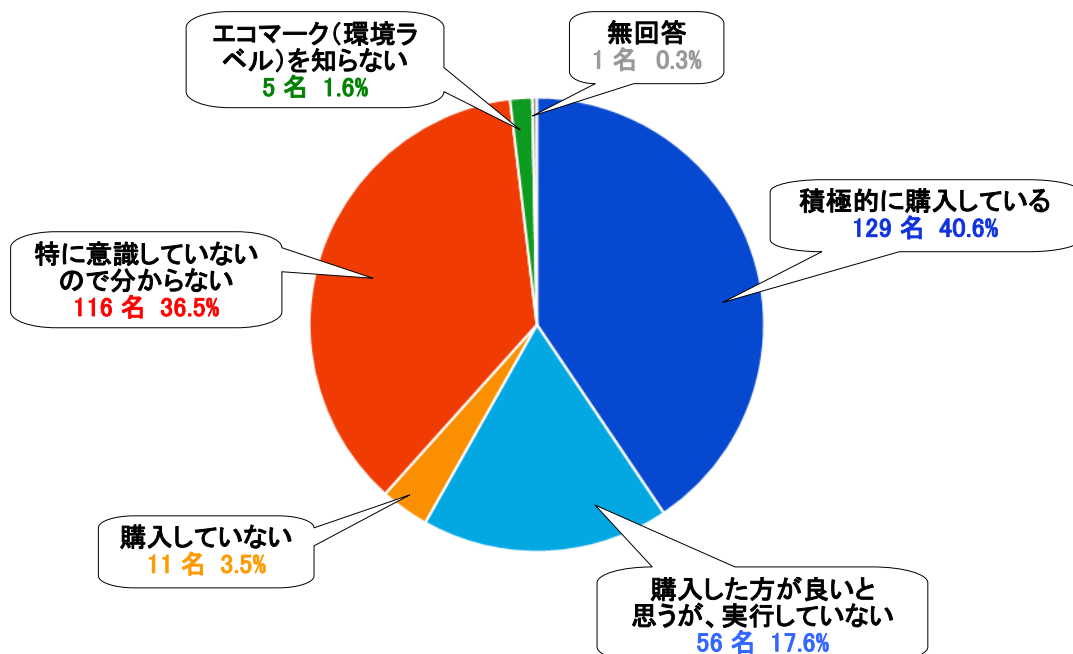
【問22】 エコマーク（環境マーク）など、環境にやさしい商品であることを表すマーク（いわゆる環境ラベル）の入った商品を購入していますか？（例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など）（回答者：317名）

環境ラベル 一例)



など

「積極的に購入している」という回答が40.6%でした。

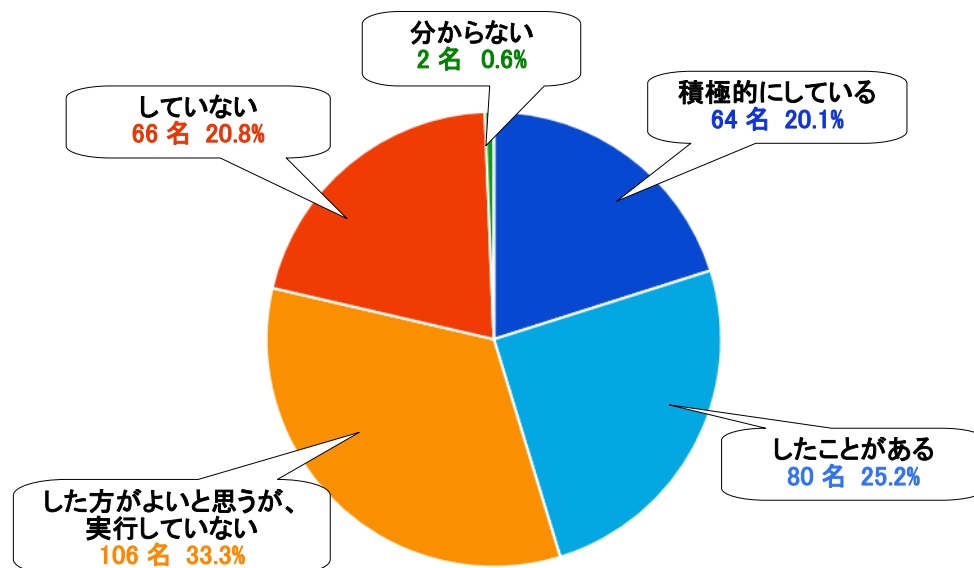


生ごみは可燃ごみの18%（重量比・H23年度実績）を占めていて、その多くが焼却処理されています。ごみの減量化にとって、生ごみの処理は重要な課題です。そこで、生ごみについてお尋ねします。

【問23】 生ごみの減量化（乾燥など）、堆肥化等のリサイクルをしていますか？

（回答者：318名）

「積極的にしている」、「したことがある」という回答が、45.3%でした。



【問24】 生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組みなど、何かご意見をお持ちですか？

（主なご意見）

- ・ 各世帯に生ゴミ処理機を置いて肥料を作り、堆肥化する。
- ・ 生ゴミ処理機のレンタル、または、生ゴミ処理機購入の際、低価格で購入出来るよう助成費の見直しをする。
- ・ 野菜の料理には無駄がでないように細かくして料理する。減量化、堆肥化に積極的になる。
- ・ 生ゴミは天日になるべく出して乾燥して出すようにする。
- ・ 余計なものは買わない。地産地消を大切にする。
- ・ 安価だからといって買いためしない。必要な量を買う。食べ残しのない量を料理する。
- ・ 地域において人それぞれゴミの減量について関心を抱くようごみ処理の費用内訳等を情報誌などに周知したらどうか。

山梨県民の1人1日当たりのごみの排出量は、H19年度実績が1,059g、H20年度実績が1,032g、H21年度実績が1,013g、H22年度実績が1,001g、H23年度実績が1,003gであり、概ね減少傾向にあります。そこで、ごみの減量化についてお尋ねします。

【問25】 ごみを減らしていくにあたって、重要と思われることや新たな取り組みなど、何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・ 地域での清掃活動を実施する。個人個人の自覚。子供に対し大人が教育する。
- ・ スーパーは食品のみでなく、衣料、雑貨等全てにおいて袋を有料化する。
- ・ リサイクルできるものは必ずリサイクルするように努力する。
- ・ ごみを分別し、資源ゴミとして再利用していくことが大事だと思う。
- ・ 必要以上の包装はしない。資源リサイクルを徹底する。
- ・ 最低限の包装にする。買う側は必要以上を買わない。
- ・ 過剰包装は避ける。大量消費社会の見直しも大切だと思う。ビン等を戻すと返金されるシステムも良いと思う。
- ・ 消費者、商業者が協力し合い、消費、生産、製造を工夫していく。